

地域福祉・開かれた市政の推進

松本 義明 議員

質問 地域福祉を推進する計画である地域福祉計画の総括、次期地域福祉計画と地域福祉活動計画の策定はそれぞれどうなっているのか。

福祉部長 社会福祉協議会の充実、地域での共助の仕組み作り、進行管理委員会の立ち上げを行ってきた。今後も関連団体との情報交換、共通理解を深め両計画の一体的策定に取り組んでいく。

質問 今後の地域福祉の推進に向けた取り組みについては。

市長 全庁的に地域福祉の共通認識をもつ必要がある。地域福祉コーナー、ネイターの配置、総合相談窓口の設置を進めていく。

質問 現在のまちづくりは量的拡大から質的向上の時期にあるが、市民との対話はどうあるべきか。

市長 複数のメディアを用いて行政情報を共有していく。「たっちゃん市長の市政コーナー」は周知方法などを工夫して充実させていく。地域に向いての行政報告や意見交換も実施に向け検討していく。

質問 企画立案への市民参画は。
市長 政策決定前の意見聴取会やシンポジウムの実施はケースバイケースで検討していく。パブリックコメントは更に充実させていく。

質問 次期総合計画へ前回以上の市民参画を図るべきではないか。

市長 市民会議を新たに設ける。市民と行政の役割分担を見直していく。市民との協働事業を更に検討していく。前回以上の市民参画を図る



たっちゃん市長の市政コーナー

